

## シンポジウム「木質構造研究の現状と今後の課題 Part III」

主催:

[日本木材学会 木材強度・木質構造研究会](#)

協賛:

[木質構造研究会](#)

趣旨:

当研究会では、1986/10 に東京で「木質構造研究の現状と今後の課題」を開催した。

木材とそれを使った構造に係る研究を総じて現状分析し、「今何が最先端なのか、何が問題なのか、我々が進むべき方向はどこなのか」について討論されたこの会は、木材強度・木質構造研究会そのものといって過言ではない。

木材研究と木造建築を繋いだ8年後、1994/08には秋田で「(同) Part II」が開催され、木材研究の活動・波及範囲が大規模木構造物に広がっていく契機ともなった。

それから12年、初回からで20年を経た現在、我々は多くの技術的蓄積と進歩を得て今日様々な問題を処理しているが、広範な知的財産とそれらを紹介する大量の情報の中、行く先を見失い「迷子」となることも増えている。

今回「(同) Part III」を開催することで関連研究者の知恵を集結し、構造材料としての木材研究が今後進むべき方向を見出す契機としたい。

日程:(予定)

2007/03/05(月)

08:30 受付開始

シンポジウム (名古屋大学野依記念学術交流会館)

懇親会

2007/03/06(火)

見学会

(トヨタ自動車国内生産工場、トヨタ博物館)

17:00 解散

(JR 名古屋駅)

問合せ先:

木材強度・木質構造研究会 幹事 軽部正彦

独立行政法人 森林総合研究所 構造利用研究領域

〒305-8687 茨城県つくば市松の里 1

TEL: 029-829-8309 FAX: 029-874-3720

連絡先メールアドレス:

<mailto:wstr200703@ml.affrc.go.jp>

最新の詳細情報は下記URLの研究会ホームページでご覧下さい。

<http://www.jwrs.org/kenkyu/wstr/>